

一般社団法人おおさき青年会議所

2022年度理事長所信

理事長 佐藤拓郎

【はじめに】

おおさき青年会議所は本年度60周年を迎えます。

おおさき青年会議所は青年会議所の理念に賛同した会員により運営されている法人であり、その主体となるのは会員一人ひとりです。おおさき青年会議所が60年間この地域に存在することは、明るい豊かな社会の実現を目指す運動がこの地域の志高きJAYCEEにより脈々と引き継がれてきたということの意味します。

この地域で生まれ育った私たちには原風景があります。夏の花火、お祭り、季節により表情を変える水田、管理された道路、新幹線、工場、病院、文化・スポーツ施設等々、どれもごく当たり前のものです。しかし、私たち青年会議所の会員は青年会議所に入会し運動を展開する中で、これらは決して当たり前が存在しているものではないということに気が付きました。私たちの原風景の裏にはこの地域をより良くしたい、守りたいという高い志をもち、汗をかいた先人たちがいたことを知りました。私たちの原風景はそういった先人たちにより守られていたのです。そうであるならば、私たち青年世代の人間はもう傍観者ではられません。私たち青年世代は与えられる側から与える側に転換する必要があります。地域のために、青年世代の私たちがより高い志をもち、地域のビジョンを掲げこの地域を少しでも良くしようと行動することが、この地域の原風景を守ってくれた先人たちへの感謝の意を示すことになり、同時により良い地域を未来に残すことになるのです。

先人たちへの感謝を胸に、本年もおおさき青年会議所は運動を展開して行きます。

【先進的で持続可能な組織運営を目指す】

新型コロナウイルスの世界的流行により、人々の行動様式や価値観の変化が求められ、あらゆる面において、オンライン化、デジタル化の要求が急激に高まりました。これらの対応は行政、民間、企業規模の大小、個人に関わらず必須となっており、おおさき青年会議所と会員一人ひとりにおいても例外ではありません。

これまでと変わらずおおさき青年会議所が運動を展開してくために、会の慣習について本質を見極めながら見直し、有益なデジタルツールを積極的に導入するなど、時勢にあった運営方法に再構築する必要があります。

会議運営、組織内の情報共有、対内外への情報発信などにおいて、おおさき青年会議所の運営方法が他の青年会議所や、会員の所属企業の業務改善の参考になるような先進的な組織運営を目指します。

現在のみならず、次の10年を見据えた、持続可能な組織運営を構築して行きます。

【地域を支える青年経済人の自覚を持ち謙虚に学ぶ】

青年会議所の会員は、それぞれ背景の異なる青年の集まりですが「仕事をしている大人」という括りにおいては同じです。JCとビジネスは別という雰囲気がありました。2019年に日本青年会議所の定款が変更され目的の一つにビジネスの機会が明記されました。

かつておおさき青年会議所といえば地元企業の経営者やその後継者が入る会、というイメージがありましたが、現在ではフリーランスや会社員に対しても積極的に会員拡大を行なっています。その結果、これまでよりも多様な会員構成となっています。

さらに、その多くの会員が理事を務めるようになり、今、おおさき青年会議所は地域に貢献したいと志す人が、属性にかかわらず集まる多様な会になっています。

ただし、青年会議所での活動は、高い志とあわせて会員それぞれの順調な事業展開があって始めて成り立つことを忘れてはいけません。

会員が積極的におおさき青年会議所で活動できるようにするために、私たちは会員の属性にかかわらず、それぞれ事業展開をする上での心構えや知識を謙虚に学ぶべきです。また、志を同じくする者同士、胸襟を開き、会員それぞれが持つ多様な知見を会員同士で共有すべきです。会員相互で学び、情報交換することで会員それぞれの事業展開に有益な閃きが生まれ、順調な事業展開につなげることができると考えます。それにより、会員がより積極的におおさき青年会議所に参画できるようになり、加えて地域に経済的な面で活力をもたすことができます。

本年度はビジネスにおいても会員一人ひとりが学びを得ることができる機会を創出していきます。本年度は研修事業を実施し、ビジネスについて会員一人ひとりが学びを得る機会を創出していきます。

【活力あふれる地域を目指し運動を展開する】

全国的に人口減少が進む中、おおさき地域においても緩やかに人口減少が進んでいます。人口減少は地域の活力の低下と同義であり、この地域が抱える課題といえます。

子供たちの笑顔があふれ、活力があふれる地域の未来を実現するために、この地域で子を産み育みたいと思えるような政策が必要です。

青年会議所は20歳から40歳までの青年経済人で構成されており、明るい豊かな社会を実現するために、団体としての大きな力と青年が持つ若さという力を有しています。

おおさき青年会議所には仕事に子育てに地域のためにと、志高く運動を起こせる尊き青年が集結しています。私たちは地域の抱える課題解決のため、最適な手法を検証し、実行することで地域を巻き込み大きな運動を起こすことができます。

子育て世代の当事者であり代表者として、この地域の子育て世代の声を集め政策を立案するとともに提言し、子供たちの笑顔と活力あふれる未来を実現すべく運動を展開して行きます。

【理想の実現に向けて会員拡大運動を推進する】

会員拡大はおおさき青年会議所にとって最も重要な運動であると位置付けます。なぜなら、青年会議所は人によって構成される組織である以上、会員なくして青年会議所は存在できないからです。また、明るい豊かな社会の実現を志す青年がこの地域に増えれば増えるほど、その実現は限りなく近くなるから

です。究極を言えば会員拡大運動こそが青年会議所運動であると言えます。

2020年1月の例会において会員を100人、200人と拡大することができたら何ができるのか、というテーマでディスカッションを行いました。その時の会員一人ひとりの楽しそうな笑顔と、おおさき地域が発展していくビジョンがありありと浮かび、期待に胸が膨らむ感覚を忘れることができません。この地域の未来のビジョンを具現化するために、本年度は60名以上の会員数を目指します。

おおさき青年会議所は2019年に33%以上の会員拡大に成功し、会員拡大褒章を受章した実績があります。本年度はその年の会員拡大成功事例を踏襲した手法を用い、会員拡大運動を展開していきます。会員の理想と私たちが描く地域のビジョンが実現する足掛かりの年になるよう取り組んでいきます。

【子供たちへ最高の夏の思い出となる花火大会】

おおさき花火大会はおおさき青年会議所のメイン事業であり、この地域に欠かすことのできない夏の風物詩として定着しています。昨年はコロナ禍により、場所を変更し無観客とすることで花火大会を開催することができました。

本年度も私たちの夏の原風景を子供たちに繋いでいくために、花火大会を開催します。

これまでは2009年の花火大会復活以降諸先輩が残してくれたフォーマットを引き継ぎながら花火大会を開催してきましたが、コロナ禍以降は前例が通じない状況になり、新たなフォーマットの構築が必要になっています。前例がない新たなチャレンジは勇気があることですが、私たちは持続可能な花火大会を目指しチャレンジを続けていきます。

10代までの間の楽しい思い出は一生忘れないはずですが、その思い出から地域への愛着は生まれるはずですが。

私たちは、本年度も夏の夜空におおさきを明るく照らす大輪の花を咲かせ、子供たちに最高の夏の思い出を届けます。

【おおさき青年会議所60周年を記念する事業の実施】

1963年、地域社会の向上のみならず、広く視野を向け、志を同じうする国内及び国際の青年経済人と連携を取り、明るい豊かな社会の実現のために努力することが、地域社会の発展に結びつくという理念のもと全国241番目の会員会議所としておおさき青年会議所（当時古川青年会議所）が発足しました。おおさき青年会議所初代理事長・日野恭一郎先輩は認承証伝達式において「本日のこの感激を深く胸に、地域社会の新しい発展の礎とならんと、パイオニアとしての役目を果たさなければならない」と力強く挨拶されました。

60年の長きにわたり、おおさき青年会議所は地域に存在し続け、創始の理念と決意は色褪せることなく、私たちに引き継がれています。地域の永続的な発展のために、この想いは次世代にも確かに伝え、継承していく必要があると考えます。

60年の節目を迎える本年は記念事業を開催し、おおさき青年会議所の創始の精神を改めて会員、特別会員の皆様、地域の皆様一同と共有します。また、明るい豊かなおおさき地域のビジョンを掲げ、その実現に向けておおさき青年会議所が発信する運動を提示します。

明るい豊かなおおさき地域の実現に向け、JAYCEEが胸を張り、力強く運動を発信する、新たな出発の日とします。

【結びに おおさき青年会議所がこの地域にあり続ける理由】

私は2009年におおさき青年会議所に入会しました。10年以上も在籍しているのは青年会議所はとてもしも尊い場であると実感しているからです。

青年会議所には不思議な力があります。青年会議所に入会すると、その会員はこの地域をより良くするため、私たちが行動を起こさねばならないと使命感に燃えはじめ、地域の課題を解決するための事業を立案し実行します。誰に頼まれたわけでもなく自ら率先してです。すると、事業を展開していく中でいつの間にか自分が「やれる」と思う範囲が広がっていることに気が付きます。今まで自分が不可能であると思っていたことはただの思い込みであり、実は可能なものかもしれないと発想できるようになります。明るい豊かな社会の実現には、高い志と主体性を持ち理想の実現に向けて行動できる人材が多く必要です。そのような人材を輩出できるのが、青年会議所の最大の魅力であり、地域にあり続ける理由であると考えています。

おおさき青年会議所は、明るい豊かなおおさき地域の実現に向け、仲間を集め、持続可能な運営を行い、地域のビジョンを持ち、地域課題を解決する運動を生み出します。そして、志高く行動力を持った人材を輩出し、地域の「幸せを生み出し続ける装置」としてあり続けます。

もっと力強いおおさきへ。さあ、胸を張っていこうぜ！

以上